
第1回 利根川流域別下水道整備総合計画策定懇談会 議事要旨・議事録

日時：令和5年7月20日(木) 15:00～17:00

場所：WEB開催

出席者：別紙参照

議事：

1. 現行基本方針の概要について
2. 現況汚濁負荷量の定量化（暫定）について
3. 水質汚濁解析の基礎的事項（暫定）について
4. 現況水質再現計算（暫定）について
5. 今後の検討スケジュールについて

I 議事要旨

- ・ 本日の議事について事務局案のとおり了承された。

II 議事録（概要）

(1) 利根川流域別下水道整備総合計画策定懇談会について

- ・ 懇談会の規約について了承された。
- ・ 懇談会の座長は齋藤委員とすることで了承された。

(2) 現行基本方針の概要について（資料-3）

- ・ 過去の水質が悪い時期から現在までの水質の変化に興味があるので調べていただきたい。（浅枝委員）
- ・ 過去から現在までの変遷の情報はこれからを考える上で重要である。（齋藤座長）

(3) 現況負荷量の定量化について（資料-4）

- ・ 現行計画で予測した負荷量と現在の実際の負荷量がどの程度違いがあったか確認しておくとうい。（齋藤座長）

(4) 水質汚濁解析の基礎的事項について（資料-5）

- ・ 意見なし

(5) 現況水質再現計算について（資料-6）

- ・ 湛水区間の再現計算結果でピークが発生している原因を確認すればモデルの再現性が高まる可能性がある。（浅枝委員）
 - ・ 浅枝委員の指摘の通り、湛水区間のピークについて、原因の確認が重要である。同様に、上流部の観測値と計算値の乖離についても、モデルへ組み込むことも考慮して原因を確認することが望ましい。その際には、そもそもの観測値の変動が極めて大きいことを考慮して、実測データの確からしさも確認しておくとうい。利根川中流部の T-N 上昇について、上流部においても同様に上昇傾向が見られるため、上昇要因を再度確認する必要があると考えられる。（齋藤座長）
 - ・ 湛水区間における COD と BOD の相関式は予測結果に影響を及ぼすため、季節的な要因など
-

の属性に分けるなどしてデータのバラツキを抑えることが望ましい。(齋藤座長)

- ・ 季節的には春先にプランクトンが出やすい。手賀沼からの影響もあるかもしれない。(浅枝委員)

(6) その他

- ・ 次回の懇談会は、2月の開催を予定する。(事務局)

以 上